

2024.06.21

第55回北海道高等学校世界史研究大会実施要項

1. 全体テーマ 歴史総合と探究科目をどうつなぐか
2. 目的
 - 歴史総合で学ぶ概念が前近代においてどのように扱われているのかを比較・考察することを通して、歴史総合と世界史探究のつながりと違いについて検討する。
 - 生徒が主体的に学ぶ歴史総合の授業を作るための視点を獲得する。
 - 北海道内のみならず全国の歴史教育関係者と意見を交換することで、これからの時代に求められる歴史教育像を明らかにしていく。
3. 日時 令和6年度8月2日(金) 9:30~16:30
4. 会場 北海道札幌東商業高校 (札幌市厚別区厚別中央3条5丁目6番10号)
 - *対面とオンラインのハイフレックスで開催します。
 - *同日開催で大規模な会議があるため、会場の駐車場を使用することができません。近隣の有料駐車場を利用されるか、公共交通機関にてご来場ください。
5. 後援 高大連携歴史教育研究会・北海道教育委員会・札幌市教育委員会・北海道高等学校長協会
6. 参加費 対面：2000円 オンライン：1000円
 - *決済はオンライン決済を基本とし、振り込みおよび持参(対面のみ)でも対応させていただきます。
7. 次第(予定)
 - 9:00 ~ 9:30 受付
 - 9:30 ~ 9:45 総会 (北海道のみ)
 - 9:45 ~ 10:00 開会式
 - 10:00 ~ 12:30 講演
 - 講演：佐藤 猛 秋田大学准教授
 - 「百年戦争から問い直す“国家”」
 - 13:30 ~ 16:30 パネルディスカッション
 - 【歴史総合開発チームの1年を振り返って】
 - 趣旨説明 前野 文繁(北海道教育庁教育局主査)
 - 「近代化と私たち」の授業作り 成田明日香(興部)
 - 「国際秩序の変化・大衆化と私たち」の授業作り 千葉 康平(有朋)
 - 「グローバル化と私たち」の授業作り 山口 可純(鷗川)

8. お申し込み

<https://forms.gle/Bgr7QzSkhZ33AiRz8> または下記 QR コードによりお申し込みください。研究大会への申し込みは 7 月 21 日（日）17:00 までとさせていただきます。



9. 懇親会について

研究会終了後に任意参加の懇親会を行います。お申し込み時に、参加希望についてお答えください。研究会当日、会場でも受け付けいたします。

10. 講演講師 佐藤 猛（秋田大学准教授）

フランス中世国制史を学び、封建社会から社団国家への変容という視点から、特に百年戦争期の王権や諸侯および王国の統治のあり方を通して中世フランスの国家観をとらえ直すなど、ヨーロッパ中世における国家のあり方について研究。“国家”や“邦”など行政単位を表す概念の多様性にも知見が深い。『百年戦争—中世ヨーロッパ最後の戦い—』（中公新書）、『行き交い、集う人々—感染症×文系カー—』（秋田魁新報社、編者）などの著作がある。北海道大学文学部および北海道大学大学院文学研究科出身。

11. その他

- お申込みいただいた方には、7 月 22 日（月）中にお支払い方法等のメールをさせていただきます。お支払いを確認後 7 月 31 日（水）までにログイン ID と資料を送信させていただきます。もし期日までに、送信されなかった場合には、お手数ですがご連絡ください。
- 連絡は gmail で行いますので、フィルタリングの解除などの対応をお願いします。
- ご不明な点等ございましたら、下記アドレスへメールにてお問い合わせください。

世界史研究会メールアドレス [sekaishiken\(a\)gmail.com](mailto:sekaishiken(a)gmail.com)

* (a) を @ へ代えて下さい

事務局長 本間 靖章（北海道札幌南高等学校）